

平成 30 年 9 月 28 日
自動車局旅客課

相乗りタクシー実証実験の結果

～ マッチング成立率約 1 割。再利用意向は約 7 割も、同乗者への不安感の解消が課題 ～

実証実験実施期間中の相乗りタクシーの**申込み人数は 5,036 人**、そのうち**利用人数は 494 人**、**マッチングの成立率は約 1 割**という結果となりました。

また、利用者アンケートによると、**本格導入後の利用意向については約 7 割の利用者が「また利用したい」と回答**されました。

一方、今回の実証実験にあわせて実施した国土交通省インターネットモニターアンケートにおいて、相乗りタクシーを利用する際に最も気になることを尋ねたところ、**約 5 割のモニターが「同乗者とのトラブルに巻き込まれるのではないかと回答**され、相乗りタクシーを「利用したくない」と回答された方にその理由を尋ねたところ、「**相乗りする人がどういう人になるかわからないから**」という理由が、**男性で約 6 割、女性で約 7 割と最も多い**という結果になりました。

これらの結果から、実際に利用された方には、複数人で相乗りして割安にタクシーを利用するという**相乗りタクシーのコンセプトは受け入れられた**と考えられる一方で、**利用したくても約 9 割の方は、マッチングが成立せずに利用できなかったことから、申込み人数の増加やマッチング効率を上げる工夫が必要**であること、また、**同乗者への不安感が強い**ことから、**これを解消する必要がある**ことなど、制度化に向けて取り組むべき課題が明らかとなりました。

□ 相乗りタクシーのねらい

- ▶ 配車アプリを活用して、目的地が近い利用者同士をマッチングさせてタクシーを配車させ、1 台のタクシーに複数の利用者が相乗りすることで、割安にタクシーを利用できるサービスを提供し、利用者利便の向上を図る。
- ▶ 1 台のタクシーで複数の利用者を運送することで、運送の効率化による生産性の向上を目指す

□ 実証実験の概要

- ▶ 期 間：平成 30 年 1 月 22 日（月）～平成 30 年 3 月 11 日（日）
- ▶ 地 域：東京 23 区、武蔵野市、三鷹市
- ▶ 車 両 数：949 両（大和自動車交通グループ、日本交通グループ）
- ▶ 調査概要：利用実績調査・利用者アンケート、国土交通省インターネットモニターアンケートを実施し、相乗りタクシーの申込み状況及び利用状況等や利用者意向を把握。今後の制度検討に活用。

□ 実証実験の結果

別紙のとおり

□ 今後の予定

今年度中にさらに詳細な分析を行い、それを踏まえて本格導入を目指した制度設計を行ってまいります。

【問い合わせ先】

自動車局旅客課 齋藤・鈴木
代表：03-5253-8111（内線 41242、41243）
直通：03-5253-8569
FAX：03-5253-1636